公告 第 41 号
令和3年9月10日

公　　告

分任契約担当官
陸上自衛隊大村駐屯地
第３６３会計隊大村派遣隊長　今里　友幸

以下のとおり一般競争入札を実施するので、「入札及び契約心得」及び「契約条項」を承知のうえ参加されたい。

1　入札事項

契約実施計画番号	調達要求番号	物品番号	仕様書番号
1S8C10100390	1SUY1AB0076 0001		

品名　または　件名
非常用自家発電装置保守点検
部品番号　または　規格
仕様書のとおり
使用器材名

数量	単位	銘柄	使用期限等	グループ	指定	検査	包装
1.00	ST						

納地または工事場所	引渡場所
陸上自衛隊　大村駐屯地	陸上自衛隊　大村駐屯地
搬入場所	納期または工期
陸上自衛隊　大村駐屯地	令和4年1月31日（月）

2　競争参加資格
次のいずれかであること
全省庁統一資格の「役務の提供等」に係る等級がA、B、C、D等級であること
ただし、細部は注意事項による。

3　契約条項を示す場所
仕様書及び入札心得等については、第３６３会計隊大村派遣隊契約班及び西部方面隊ホームページに掲示する。

4　説明会及び入札執行の日時場所
説明会日時場所：
入札日時場所　：令和3年10月6日（水）11時00分　大村会計隊　会計隊長室

5　保証金
入札保証金：免除　契約保証金：免除

6　落札決定方式及び契約方式
落札決定方式：総品目総額　契約方式：一般競争

7　注意事項
他の項目については、別紙による。

別　紙

1　入札参加資格者
（1）予算決算及び会計令第７０条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
（2）予算決算及び会計令第７1条の規定に該当しない者であること。
（3）平成３１・３２・３３（令和１・２・３）年度全省庁統一競争参加資格「役務の提供」のD等級以上を有する者であること。
（4）大臣官房衛生監、防衛政策局長、防衛装備庁長官及び陸上幕僚長から「装備品等及び役務の調達に係る指名停止等の要領」に基づく指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
（5）前号により現に指名停止を受けている者と資本関係又は人的関係のある者であって、当該者と同種の物品の売買又は製造若しくは役務請負について防衛省と契約を行おうとする者でないこと。
（6）原則、現に指名停止を受けている者の下請負については認めない。ただし、真にやむを得ない事由を該当する省指名停止権者が認めた場合には、この限りでない。
（7）入札等参加者心得に定める「暴力団排除に関する誓約事項」に基づく誓約を行った者であること。
（8）競争参加資格審査結果通知書（写）を期限までに提出し、確認を受けている者

2　公告の提示場所　：　陸上自衛隊 西部方面隊ホームページ（http://www.mod.go.jp/gsdf/wae）・大村駐屯地・竹松駐屯地・相浦駐屯地・海自大村航空基地経理隊及び大村・諫早・長崎・佐世保の各商工会議所

3　契約条項及び入札参加者心得を示す場所：　陸上自衛隊 大村駐屯地第３６３会計隊大村派遣隊・西部方面隊ホームページ

4　落札決定方法
（1）総品目総額（税抜き）とし、総品目総額が当隊所定の予定価格制限の範囲内の最低入札者を落札者とする。なお、落札となるべき最低入札者が２人以上ある場合は、くじ引きにより落札者を決定する。
（2）総品目総額が予定価格に達しない場合は、再度入札を実施する。

5　保証金に関する事項
（1）入札保証金：　免 除
ただし、落札者が契約を締結しない場合は、落札金額の１００分の５以上を違約金として徴収する。
（2）契約保証金：　免 除
ただし、契約者がその契約上の義務を履行しない場合は、契約金額の１００分の１０以上を違約金として徴収する。

6　入札方法
（1）　落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の消費税率に基づく消費税に相当する額を加算した金額（当該金額に１円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって契約金額とするので、入札者は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額に消費税法に規定する消費税率に基づく消費税に相当する金額を差し引いた金額を入札書に記載すること。
（2）入札書下部余白に「当社（私・個人の場合）、当団体（団体の場合）は上記公告に対して「入札及び契約心得」及び「標準契約書」の契約条項等を承諾の上入札致します。また「入札及び契約心得」に定める暴力団排除に関する事項について誓約します。」と記載すること。記載がない場合、競争参加者として認めない。

7　入札の無効
（1）競争参加の資格のない者のなした入札
（2）電話・電報・ＦＡＸ等による入札
（3）入札金額、入札者名称等判別し難い入札
（4）１（７）について、入札者が実施した誓約に虚偽があった場合又は誓約に反する事態が生じた場合
（5）その他入札に関する条項に違反した入札

8　契約書等作成　：契約者は決定後、契約金額により「駐屯地用標準契約書」の様式により作成する。

9　その他
（1）入札参加希望者は、１０月５日（火）１２００までに競争参加資格審査結果通知書（写）を提出（ＦＡＸ可）すること

（２）入札を委任する場合は、入札開始前までに「委任状」を提出すること。
（３）郵便による入札は、１０月５日（火）１２時００分迄に到着するよう「書留」で郵送したものを有効とする。この際、第３６３会計隊大村派遣隊の担当者へ連絡を確実に実施すること。入札書を封筒に入れて、その封筒の表に氏名（法人の場合はその名称又は商号）及び「入札書在中」と記入すること。また、入札金額が同額になる場合は当該入札に関係のない職員により抽選を実施する。郵便による入札参加者がいる場合の再度入札日時については、別途連絡する。
（４）「入札等参加者心得」を承知の上参加すること。

10　問い合わせ先

〒８５６－８５１６　長崎県大村市西乾馬場町４１６
入札に関する事項　：陸上自衛隊大村駐屯地　第３６３会計隊大村派遣隊　契約班　松田
ＴＥＬ　０９５７－５２－２１３１　（内線　３４８）
ＦＡＸ　０９５７－５２－２１３１　（内線　３４４）

仕様書に関する事項　：陸上自衛隊大村駐屯地　業務隊管理科　営繕班　北平
ＴＥＬ　０９５７－５２－２１３１　（内線　３０７）

仕　様　書

件　名	非常用自家発電装置保守点検	作成年月日	令和３年９月８日
		所　属	大村駐屯地業務隊管理科営繕班
		作成者	防衛技官　北平　慧介

1　役務場所

長崎県大村市西乾馬場町４１６　　陸上自衛隊大村駐屯地

2　役務概要

非常用自家発電装置保守点検（６年毎点検）３００ｋＶＡ　　１基

非常用自家発電装置消耗部品交換　　一式

非常用自家発電装置付帯設備の保守点検　　一式

3　一般事項

(1)　本役務は、本仕様書による他、次の基準及び関係諸規則の定めに従い実施するものとする。

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『建築保全業務共通仕様書』

(2)　本役務の実施にあたり、本仕様書と図面あるいは現地において、疑義、相違及び不明な点が生じた場合は、担当官と協議しその指示に従うものとする。

(3)　請負者は、実施にあたり諸法規を遵守するとともに、その運営及び適用は請負者の負担と責任において実施するものとする。

(4)　写真は、着手前、完了後、各工程毎及び材料搬入状況等を撮影し写真帳（Ａ４）に整理し提出するものとする。

(5)　作業場所及び指定された場所以外の無断立入り及び写真撮影は禁止するものとする。

(6)　請負者は、業務責任者を指名し関係法令に従って現場の管理に当たらせ、関係者の監督及び火災・盗難等の災害防止に十分な注意を払わせるものとする。現場においては常に整理整頓を行い、災害等においては自らの責に任ずるものとする。

(7)　本役務に使用する材料は、再使用品を除き全て新品とし、カタログ等を提出し承認を受け、合格品のみを使用するものとする。

(8)　点検及び確認等の結果に応じ、実施する保守の範囲は、次のとおりとする。

ア　汚れ、詰まり、付着等がある部品又は点検部の清掃

イ　取付け不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整

ウ　ボルト、ねじ等で緩みがある場合の調整

エ　次に示す消耗品の交換又は補充

a　潤滑油、グリス、充填油等

b　ランプ類、ヒューズ類

c　パッキン、ガスケット、Ｏリング類

オ　接触部分、回転部分等への注油

カ　軽微な損傷がある部分の補修

(9)　本役務において発生した産業廃棄物（廃油等）については、請負者の責任において、関係法令に基づき搬出・処分し、マニフェスト（Ｅ票）の写しを提出するものとする。

(10)　本役務において電気及び水道を使用する場合は、請負者側で準備するものとする。自衛隊の電気及び水道を使用する場合は、事前に担当官に連絡の上、メーターを取付、その使用料金を徴収する。

4　特記事項

(1)　本役務において保守点検等を実施する設備仕様等は、次のとおり。

ア　非常用自家発電装置

機器名称	数量	規　格　等	設置場所
原動機	1台	製造者名　ヤンマーエネルギーシステム株式会社 型　式　立形単動4サイクル過給機付ディーゼル機関 6HAL2-DT 製造年　2012年 製造番号　5496 定格出力　310kW 回転速度　1800min-1 気筒数　直列6気筒（内径130φ×行程165mm） 回転方向　左（ハズミ車から機関を見て） 燃焼方式　直接噴射式 始動方式　セルモータによる電気始動（DC24V 6kW） 冷却方式　ラジエータ冷却方式（冷却水量53.6L） 潤滑油量　API CD級以上 10W-30 60L 使用燃料　軽油（燃料使用量 定格運転時85.9L/h）	発電機室
交流発電機	1台	製造者名　オーハツ株式会社 型　式　三相同期発電機 CDB・OCS-630 製造年　2012年 製造番号　12J0314 定格出力　300kVA（240kW） 定格電圧　6600V 定格電流　26.3A 周波数　60Hz 極　数　4極 回転速度　1800min-1 回転方向　左（反直結側から見て）	発電機室

イ　補機類等

機器名称	数量	規　格　等	設置場所
自家発始動用 直流電源盤	1台	製造者名　ユアサM&B株式会社 装置型式　SWSB24-10-150 製造番号　120999-1 蓄電池型式　SNS-150 ｾﾙ数12 150Ah 電源入力　1φ2W AC200V 定格容量　0.56kVA 整流出力　浮動充電電圧 DC26.8V 定格電流　10A	発電機室
自家発制御用 直流電源盤	1台	製造者名　ユアサM&B株式会社 装置型式　GWCB100-10-50 製造番号　120999-2 蓄電池型式　SNS-50-12 ｾﾙ数9 50Ah 電源入力　1φ2W AC200V 定格容量　2.3kVA 整流出力　浮動充電電圧 DC120.4V 定格電流　10A	発電機室

機器名称	数量	規　格　等	設置場所
地下オイルタンク	1基	容　量　6000L 油の種類　軽油	発電機室屋外
サービスタンク	1基	容　量　300L 油の種類　軽油	発電機室
燃料移送ポンプ	2台	製造者名　株式会社荏原製作所 型　式　12GPA6.3A 定　格　3φ3W AC200 0.2kW	発電機室
給気装置	1台	製造者名　三菱電機株式会社 型　式　KG-80HTF3 定　格　3φ3W AC200 2.2kW 付属品　屋外SUS製フード (防火ダンパーFVD手動復帰式付)	発電機室
排風消音器	1台	形　式　搭載型 付属品　屋外SUS製フード (防火ダンパーFVD手動復帰式付)	発電機室

ウ　ガス検知警報器

機器名称	数量	規　格　等	設置場所
指示計器部	1台	製造者名　理研計器株式会社 型　式　GH-6001 製造番号　28D00437 対象ガス　軽油 (0-2000ppm)	発電機室
ガス検知部	1台	製造者名　理研計器株式会社 型　式　GD-A80V 製造番号　28K0343701RN 対象ガス　軽油 (0-2000ppm) センサ型式　SG-8521	発電機室屋外

エ　保護継電器・遮断器等

機器名称	数量	規　格　等	設置場所
過電流継電器	1台	製造者名　光商工株式会社 型　式　LOC-14 製造番号　805507 製造年　2012年	発電機室 自動始動発電機盤
過電圧継電器	1台	製造者名　オムロン株式会社 型　式　K2VA-S24-F4 製造番号　280012 製造年　2012年 制御電圧　DC100/110V	
不足電圧継電器	1台	製造者名　オムロン株式会社 型　式　K2VU-S24-F4 製造番号　290009 製造年　2012年 制御電圧　DC100/110V	

機器名称	数量	規　格　等	設置場所
地絡電圧継電器	1台	製造者名　光商工株式会社 型　式　LVG-7 製造番号　359362 製造年　2012年 制御電圧　AC110V	発電機室 自動始動発電機盤
電圧継電器	1台	製造者名　オムロン株式会社 型　式　LG2-AB(AC100V) 製造番号　280094 制御電圧　AC100V	
真空遮断器	1台	製造者名　三菱電機株式会社 型　式　VF-8CM-DG 製造番号　2HB119 製造年　2012年 定格電圧　7.2kV 定格電流　400A 定格遮断電流　8kA	
不足電圧継電器	1台	製造者名　富士電機株式会社 型　式　QH-UV1 製造番号　23271 製造年　2013年 制御電圧　AC110V	3号非常用 高圧切替盤
電源切替用 高圧交流真空 負荷開閉器	1台	製造者名　株式会社戸上電機製作所 型　式　VAS-B-GN11 製造番号　E358784 製造年　2012年 定格電圧　7.2kV 定格電流　400A 制御電圧　AC100V	
負荷開閉器	1台	製造者名　三菱電機株式会社 型　式　SCL-EHN2R 製造番号　A80WN0025 製造年　2012年 定格電圧　7.2kV 定格電流　200A	
高圧ケーブル	—	規　格　6kV EM-CET 22sq 区　間　自動始動発電機盤～ 3号非常用高圧切替盤	

機器名称	数量	規　格　等	設置場所
不足電圧継電器	1台	製造者名　富士電機株式会社 型　式　QH-UV1 製造番号　23299 製造年　2013年 制御電圧　AC110V	A地区非常用 高圧切替盤
電源切替用 高圧交流真空 負荷開閉器	1台	製造者名　株式会社戸上電機製作所 型　式　VAS-B-GN11 製造番号　E358783 製造年　2012年 定格電圧　7.2kV 定格電流　400A 制御電圧　AC100V	
負荷開閉器	1台	製造者名　三菱電機株式会社 型　式　SCL-EHN2R 製造番号　A80WN0026 製造年　2012年 定格電圧　7.2kV 定格電流　200A	
高圧ケーブル	—	規　格　6kV EM-CET 22sq 区　間　3号非常用高圧切替盤～ A地区非常用高圧切替盤	
不足電圧継電器	1台	製造者名　富士電機株式会社 型　式　QH-UV1 製造番号　23300 製造年　2013年 制御電圧　AC110V	C地区非常用 高圧切替盤
電源切替用 高圧交流真空 負荷開閉器	1台	製造者名　株式会社戸上電機製作所 型　式　VAS-B-GN11 製造番号　E358782 製造年　2012年 定格電圧　7.2kV 定格電流　400A 制御電圧　AC100V	
負荷開閉器	1台	製造者名　三菱電機株式会社 型　式　SCL-EHN2R 製造番号　436894001 製造年　2012年 定格電圧　7.2kV 定格電流　200A	
高圧ケーブル	—	規　格　6kV EM-CET 22sq 区　間　A地区非常用高圧切替盤～ C地区非常用高圧切替盤	
低圧ケーブル	—	規　格　600V EM-CE 38sq-3C 区　間　C地区低圧電灯盤～ 受電所低圧電灯盤	

(2)　点検項目及び点検内容は、「５　保守点検項目表」に従い実施するものとする。

(3)　作業終了後、保守点検項目表に従った保守点検報告書を１部担当官に提出するものとする。

(4)　別途経費を必要とする修繕箇所が発生した場合は、書面及び写真と共に見積書を添付し担当官に提出するものとする。

(5)　自動起動試験における停電の日時にあたっては事前に担当官と調整し、関係者立会のもと実施するものとする。

(6)　本役務で交換する部品名称及び規格、数量は下表のとおり。

なお、交換部品については製造会社指定品及び同等品以上のものを使用すること。

部　品　等　名　称	規　格　等	純正部品番号	数　量
側蓋パッキン		126650-01411	２個
潤滑油フィルターエレメント		126650-35350	１個
燃料油フィルターエレメント		41650-502330	１個
過給機プレフィルター		128624-18330	１個
燃料噴射弁整備キット		126683-11940	６個
		126650-11840	６個
		126629-11920	６個
		126644-53550	６個
冷却水ポンプ駆動ベルト		126650-44781	１個
ヘッドガスケット		126629-01330	２個
弁腕室パッキン		126634-11413	２個
噴射室オイルシール		126634-11900	６個
吸気マニホールドパッキン		126634-12131	６個
空気冷却器パッキンセット		126625-18111	２個
		126625-18090	４個
排気マニホールドパッキン		126634-13212	６個
排気マニホールドシーリング		126650-13170	４個
排気出口ガスケット		148816-18404	１個
過給機出口ガスケット		127675-18400	１個
冷却水ポンプ仕組		126625-43102-C	１個
油圧スイッチ		123682-39510	１個
水温スイッチ		127610-91360	１個
圧力センダーユニット		119773-91501	１個
温度センダーユニット		144626-91590	２個
冷却水ヒータースイッチ		46111-555950	１個
ライナパッキンセット		144626-01322	６個
		126650-01301	６個
		126650-01311	１２個
ギヤーケースパッキン		126650-01512	１個
ギヤーケースオイルシール		126630-01751	１個
弁腕室蓋パッキン		126677-11430	２個
ピストンリングセット		726671-22500	６個
ロッドボルト		126664-23200	１２個
クランクピンメタル		126625-23221	６個
潤滑油冷却器パッキン		126625-33020	１個

部　品　等　名　称	規　格　等	純正部品番号等	数　量
燃料噴射ポンプ整備キット		126624-51600	6個
		X0166502230	2個
停止ソレノイド		126650-65800	1個
セーフティリレー		46120-501940	1個
過給機整備キット		940042-40009	1個
		X4038180043	1個
		X4802890002	1個
		X4487640001	1個
		941039-40001	2個
		940804-90019	1個
		9400073-80460	1個
機関潤滑油	API CD級 10W30 20L缶	ﾔﾝﾏｰｽｰﾊﾟｰﾛｲﾔﾙｵｲﾙ	3缶
冷却水クーラント	18L缶	ﾔﾝﾏｰﾛｲﾔﾙﾌﾘｰｽﾞ	1缶
テンションプーリー	ブラケット含む		1個

5　保守点検項目表

点検項目	点検内容
1　原動機	①　原動機の据付け状況の確認 ②　各部の汚損、変形等の有無の点検 ③　機側の各配管等に燃料、冷却水、潤滑油等の漏れがないことの確認 ④　クランクケース、過給機、燃料ポンプ、調速機等各部の潤滑油量が適正であることの確認 ⑤　冷却水ヒーター、オイルパンヒーター及びヒーター回路の断線、加熱等の有無の点検 ⑥　機関のターニングにより次の点検を行う a　各シリンダーの吸・排気弁の開閉時期及びバルブクリアランスの良否 b　燃料噴射ポンプの吐出開始時期の良否、噴射圧力測定 ⑦　燃料噴射弁の噴射圧力及び噴射状態の良否の点検 ⑧　燃料フィルター及び潤滑油フィルターの交換 ⑨　クランク軸デフレクション計測を行い、その結果が規定値内にあることの確認 ⑩　調速機（リンク系統及び電気系統）装置の作動状況の確認 ⑪　潤滑油の交換は、潤滑油（製造者の指定品）を潤滑油用プライミングポンプ、ウィングポンプ、ドレンプラグ等により排出し、フラッシング油を使用して清掃し、作業終了後フラッシング油を抜取り、新油を給油。 また、次の各部にグリス油（製造者の指定品）を給油 a　冷却水ポンプ（電動機付） b　同上（機関付） c　燃料移送ポンプ ⑫　潤滑油プライミングポンプ、ブースター等を分解し、異常の有無の点検 ⑬　シリンダヘッドを取外し、分解清掃後、カラーチェック等により燃焼面のき裂及びストレッチによる変形の有無の点検。また、取付け時、シリンダヘッド銅パッキン又はガスケットパッキンの交換 ⑭　吸・排気弁を取外し、分解清掃後、ばねの異常及び弁棒と弁案内のしゅう動部の異常の有無の点検 ⑮　燃料噴射ポンプ及び吸排気弁用カム、タペットローラの摩耗、損傷、剥離棟の有無の点検 ⑯　燃料噴射ポンプの吐出弁、弁座及び燃料高圧管の取付け部の損傷の有無の点検 ⑰　シリンダライナ及びピストンの点検は、次による。 a　燃焼面のカーボンを除去、清掃 b　燃焼面及びピストンとのしゅう動面に損傷の有無の点検 c　ピストンとのしゅう動面の摩耗状態をシリンダゲージにより測定 d　シリンダライナを抜出し、ジャケット側の腐食、損傷等の有無の点検 e　ピストンを抜出し、ピストン及びピストンリングの摩耗状態の確認

点検項目	点検内容
	⑱ 給気管等の点検は次による。 a 給気管内部に損傷の有無 b 膨張継手の汚損、亀裂、破損等の有無 c 給気冷却器付は、その内部を分解清掃後異常の有無 d 過給機ケースの損傷、亀裂、腐食等の有無 e 過給機プレフィルターの交換及びサイレンサの清掃 ⑲ 冷却水ポンプの分解点検等は、次による。 a メカニカルシールのゴムリング部の摩耗及び割れの有無 b インペラの損傷、亀裂、腐食等の有無 c ケーシング本体との隙間測定 ⑳ 始動電動機等の点検は次による a ブラシの摩耗状況の確認 b 整流子面に異常のないことの確認 c 開閉器主接点の面荒れ
2 発電機	① 発電機本体、出力端子保護カバー等の変形、損傷、脱落、腐食等の有無の点検 ② 発電機の巻線部及び導電部周辺に付着したほこり、油脂等による汚損の有無及び乾燥状態の確認 ③ スペースヒータ及び回路の断線、過熱等の有無の点検 ④ 接地線の断線、亀裂、及び接続部の緩みの有無の点検 ⑤ 回転整流器の取付け状態の確認 ⑥ 軸受等の潤滑状況の良否、変形及び汚損の有無の点検 ⑦ 潤滑油の汚損状況及び水分の混入状況の点検
3 整流装置	
a 外観点検	① 外箱の外観、計器、表示灯、スイッチ類の変形、損傷、腐食等の有無の点検 ② 各部分の汚損、損傷、温度上昇、過熱、変色、異常音、異臭等の有無の点検 ③ 固定金具、据付ボルト等の変形、損傷、緩み等の有無の点検
b 機能点検	① 開閉器及び遮断器の変形、損傷等の有無の点検 ② 自動回復充電の動作確認 ③ 実負荷により常用電源を停電状態にしたときに自動的に非常電源に切替わり、非常電源を復旧したときに自動的に常用電源に切替わることの確認
c 配線・端子	① 内部配線及び端子部の劣化並びに端子接続部の緩みの有無の点検

点検項目	点検内容
4　蓄電池	
a　外観点検	①　各セルについて電槽、蓋、各種全体、パッキン等に変形、損傷、亀裂及び漏液の有無を点検　また、蓄電池の交換時期の確認
	②　架台及び外箱の変形、損傷、腐食等の有無の点検
	③　蓄電池の転倒防止枠、アンカーボルト等の変形及び損傷の有無の点検
	④　蓄電池端子と配線及び各セルの蓄電池間の接続部の発熱等異常の有無の点検
b　機能点検	①　自動充電装置については次の点検を行う
	a　交流入力電圧、浮動充電電圧、充電電流を測定し、正常であることの確認
	②　各セル毎の点検については次の点検を行う
	a　電槽温度、内部抵抗、浮動電圧を測定し、正常であることの確認
5　補機付属装置類	
a　燃料槽	
(1) 地下タンク	①　貯油量を油面計により点検し、併せて油面計の動作の良否を点検
	②　マンホールプロテクター内部の汚れ、滞水、滞油及び堆積物の清掃
(2) サービスタンク	①　タンク、配管及び各種バルブの状態並びに取付ボルトの異常の有無の点検
	②　タンクの燃料油の沈殿物、水分の有無の点検
b　燃料移送ポンプ	①　ポンプ運転用レベルスイッチが正常に作動することの確認
	②　ポンプの基礎ボルト及び取付ボルトの点検
	③　本体に異常音、異常振動、異常な温度上昇等の有無の点検
	④　漏油の有無の点検
c　ラジエータ	①　ラジエータ本体及びファン等の変形、損傷、緩み、腐食、漏水等の有無の点検
	②　ファンベルトの交換
	③　ラジエータコア外面の汚損の有無の点検
	④　ラジエータ内部の冷却水の交換
	⑤　冷却水の水量の点検及び加圧試験
d　防火ダンパー	
(1) ダンパー本体	①　変形、サビ、腐食、傷及び損耗の有無の確認
	②　温度ヒューズの損傷、ビスの緩み及び脱落の有無の確認
	③　ダンパーのがたつき及び変形の有無並びにダクト接続部分のすきま等の有無の点検
	④　吊金具等による躯体との固定に緩み等の無いことの確認
	⑤　検査口から羽根が確実に閉鎖することの確認
(2) 自動閉鎖装置	①　自動閉鎖装置に著しい変形、損傷等の有無の確認
	②　温度ヒューズ付自動閉鎖装置の場合は、規定の温度ヒューズであること並びにヒューズ本体及び取付け部の状態が正常であることの確認
e　換気装置	①　給気ファンの据付状態、回転部に緩み、損傷、亀裂、異常音、異常振動等の有無の点検
	②　軸受部の潤滑油に汚れ、変質、異物の混入等の有無の点検

点　検　項　目	点　　検　　内　　容
f　排気装置	
(1) 消音器	①　支持金具、緩衝装置等の損傷の有無の点検 ②　ドレンバルブ又はドレンコックを点検し、水分等を除去
(2) 排気管	①　排気伸縮管、排気管及び断熱被覆に変形、脱落、損傷並びに亀裂の有無の点検 ②　室外露出部のサビ等の有無及び先端部保護網の取付け状態の良否の確認
g　各種配管	①　配管等の変形、損傷等の有無を点検し、支持金具に緩みがないことの確認 ②　配管の取付け部及び接続部からの漏れの有無を点検し、バルブの開閉状態が正常の位置にあることの確認 ③　原動機本体、付属機器及びタンク類との接続部の各種可とう管継手に変形、損傷、漏れ等の有無の点検　また、ゴム状の可とう管継手を使用している場合は、ひび割れ等のないことの確認 ④　温調弁及び感温部の動作温度が設定値どおりであることの確認。なお、点検で取り外したパッキンは交換すること ⑤　冷却水系統及び燃料系統の電磁弁の動作状況の点検
6　ガス検知警報器	①　メーカー推奨による１年毎点検を実施し異常のないことの確認
7　自動始動発電機盤	
a　盤本体内部配線等	①　盤本体、扉、ちょう盤等の損傷、サビ、変形、腐食等の有無の点検 ②　主回路及び制御用、操作用、表示用等の配線に腐食、損傷、過熱、ほこりの付着、断線等の有無の点検 ③　主回路端子部、補機回路端子部、検出部端子等の接続部分に腐食、損傷及び過熱による変色の有無の点検 ④　碍子類、その他支持物の腐食、損傷、変形等の有無の点検 ⑤　スペースヒーター及び回路の断線、過熱等の有無の点検
b　盤内機器	①　自動電圧調整装置（ＡＶＲ） a　変形、損傷、腐食、ほこりの付着、過熱、接触不良の有無の点検 ②　真空遮断器 a　機器外面の損傷、過熱、サビ、腐食、変形、汚損、変色等の有無の点検 b　本体の取付け状態及び配線接続状態の良否の点検　また、出入れ操作の円滑性及び導体接触部の良否の点検 c　遮断器の開閉表示及び開閉操作の良否。また、動作回数の確認 d　制御回路の断線、端子接続部の緩み等の有無の点検 e　操作機構部の損傷、変形、サビ等の有無の点検　また、可動軸部及び機構部のグリスを取除き、適量のグリスを再注油すること ③　避雷器 a　機器外面の汚損、損傷、過熱、サビ、腐食、変形、変色、異常音等の有無の点検 b　本体の取付け状態及び配線接続状態の良否の確認 c　接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無の点検

点検項目	点検内容
	④ 計器用変成器 a 機器外面の損傷、過熱、サビ、腐食、変形、汚損、変色等の有無の点検 b 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否の確認 c 制御回路の断線、端子接続部の緩み等の有無の点検 d 電力ヒューズ付は、汚損、亀裂等の有無の点検　また、予備ヒューズの確認 ⑤ 指示計器・保護継電器 a 機器外面の損傷、過熱、サビ、腐食、変形、汚損、変色等の有無の点検 b 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否の確認 c 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無の点検 d 制御回路の断線、端子接続部の緩み等の有無の点検 e 各指示計器の零点調整を行い、正常に機能していることの確認
c 制御回路部	① 制御電源スイッチ、自動、手動切替スイッチ、自動始動制御機器等の操作及び取付の良否並びに汚損、破損、腐食、過熱、異常音、異常振動等の有無の点検 ② 補機盤は、次の点検を行う a 補機用電源スイッチ（給気ファン・冷却水ポンプ・潤滑油ポンプ・燃料移送ポンプ等）の操作及び取付状態の良否並びに汚損、破損、腐食、過熱、異常音、異常振動等の有無の点検 b 補機運転用検出スイッチを短絡又は開放して、自動運転ができることの確認
8 非常用高圧切替盤	① 盤本体、扉、ちょう盤等の損傷、サビ、変形、腐食等の有無の点検 ② 表示灯の点灯状況の確認 ③ 機器外面の損傷、過熱、サビ、腐食、変形、汚損、変色の有無の点検 ④ 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否の点検 ⑤ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無の点検 ⑥ 引込ケーブル等の端子部及びブッシングの汚損並びに亀裂の有無の点検 ⑦ 制御回路の断線及び端子接続部の緩みの有無の点検
9 接地抵抗 （発電機及び自動始動発電機盤）	① 接地線の断線、腐食等の有無の点検 ② 接地線接続部の取付け状態（ボルト、ナットの緩み、損傷等）の点検 ③ 接地抵抗を測定し、その良否の確認（種別：A種接地）
10 絶縁抵抗	① 「6 絶縁抵抗測定一覧表」のとおり、機器を回路別に絶縁抵抗を測定し、その良否の確認
11 耐震措置	① アンカーボルト、防振装置、可とう管継手等の耐震措置が適正であること ② アンカーボルト、防振装置、可とう管継手等の変形、損傷及びナットの緩みの有無の点検

点　検　項　目	点　　検　　内　　容
12　高圧ケーブル	①　ケーブルの被覆材、支持材及び端子部の損傷、腐食、過熱等の異常の有無の点検 ②　端子部及び分岐接続部の緩み等の点検
13　保護継電器試験	①　「7　保護継電器試験機器一覧表」のとおり各機器の継電器試験を行い、測定値が基準の範囲内で動作すること
14　保護装置	①　「8　保護装置一覧表」のとおり保護装置が正常に動作すること
15　運転機能 （実負荷運転）	①　発電機の定格出力の３０％以上の負荷において、「9　機関試験一覧表」のとおり測定し、測定値の良否の確認 ②　運転中に油漏れ、異臭、異常音、異常振動、異常な発熱及び排気色の異常の有無の確認 ③　運転中に原動機出口より、消音器、建物等の外部に至るまでの排気系統からの排気ガス漏れの有無の確認
16　総合試験	①　「１０　始動及び停止時のタイムスケジュール」に基づく、商用停電信号による発電機自動起動及び復電信号による自動復帰、時限の計測 ②　各非常用高圧切替盤のＭＣ－ＤＴの動作（自動切替）及び表示の確認 ③　Ｃ地区受変電設備にてＤ地区受変電設備向けＬＢＳ遮断の確認 ④　Ａ地区・Ｃ地区ＳＨＴブレーカ遮断の確認
17　運転終了後の点検	①　運転終了後、スイッチ、ハンドル、バルブ等の位置が自動運転の待機状態であることの確認

6　絶縁抵抗測定一覧表

盤　名　称	測　定　回　路	線間・大地間別	測定電圧	測定値	判定
自動始動発電機盤	発電機主回路	大地間	DC 1000V		
	発電機界磁回路	大地間	DC 500V		
	冷却水ヒーター	大地間	DC 500V		
	潤滑油ポンプ	大地間	DC 500V		
	給気ファン	大地間	DC 500V		
	１号燃料移送ポンプ	大地間	DC 500V		
	２号燃料移送ポンプ	大地間	DC 500V		
	スペースヒーター	大地間	DC 500V		
	給油口ボックス電源	大地間	DC 125V		
自家発始動用直流電源盤	交流入力	大地間	DC 500V		
	スペースヒーター	大地間	DC 500V		
自家発制御用直流電源盤	交流入力	大地間	DC 500V		
	制御用負荷	大地間	DC 500V		
	スペースヒーター	大地間	DC 500V		

7　保護継電器試験機器一覧表

盤　名　称	種別	名　称	型　式	製造者名	製造番号	製造年
自動始動発電機盤	５１	過電流継電器	LOC-14	光商工	805507	2012年
	５９Ｇ	過電圧継電器	K2VA-S24-F4	オムロン	280012	2012年
	２７Ｇ	不足電圧継電器	K2VU-S24-F4	オムロン	290009	2012年
	６４Ｇ	地絡電圧継電器	LVG-7	光商工	359362	2012年
	８４Ｇ	電圧継電器	LG2-AB	オムロン	280094	—
３号非常用高圧切替盤	２７Ｒ	不足電圧継電器	QH-UV1	富士電機	23271	2013年
Ａ地区非常用高圧切替盤	２７Ｒ	不足電圧継電器	QH-UV1	富士電機	23299	2013年
Ｃ地区非常用高圧切替盤	２７Ｒ	不足電圧継電器	QH-UV1	富士電機	23300	2013年

8　保護装置一覧表

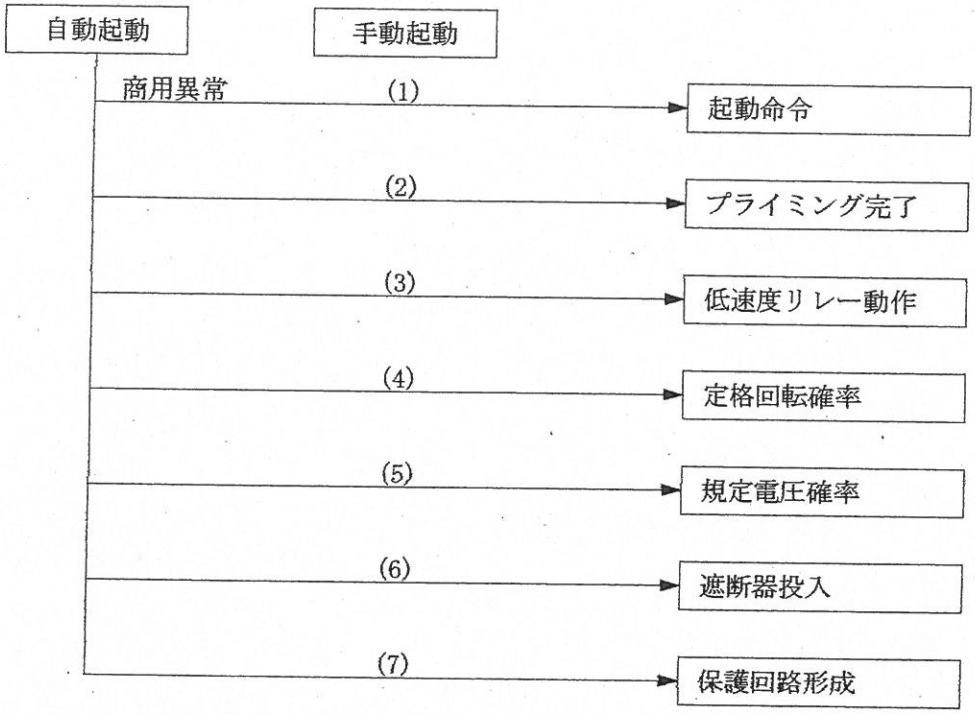
保護項目			警報	警報		機関	主回路
区分	故障項目	デバイス	表示灯	ベル	ブザー	自動停止	遮断
重故障	潤滑油圧力低下	63Q	○	○	－	○	○
	冷却水温度上昇	26W	○	○	－	○	○
	過回転	12	○	○	－	○	○
	始動渋滞	48T	○	○	－	○	－
	過電流	51	○	○	－	×	○
	過電圧	59G	○	○	－	○	○
	不足電圧	27G	○	○	－	○	○
	緊急停止	5E	○	○	－	○	○
	燃料油最低油量	33QLL	○	○	－	○	○
軽故障	燃料油油面低下	33QL	○	－	○	×	×
	燃料油油面上昇	33QH	○	－	○	×	×
	地絡	64G	○	－	○	×	×
	補機故障	86LA	○	－	○	×	×
	地下貯油槽油面低下	33QL2	○	－	○	×	×
	直流電源盤故障	86D	○	－	○	×	×
	ＡＶＲ故障	865AVR	○	－	○	×	×
	配管ピット漏油	33QS	○	－	○	×	×
	ＳＰＤ用（ＡＬ）	86SPD	○	－	○	×	×

9　機関試験一覧表

測定時刻	出力	電圧	電流	周波数	力率	周囲温度	ディーゼル機関				過給機		発電機	
							回転数	潤滑油圧力	潤滑油温度 入口	冷却水温度 出口	排気温度 出口		反直結側軸受	
時分	kW	V	A	Hz	%	℃	min^{-1}	MPa	℃	℃	℃		℃	
規格値	≦240	6300 ～ 6900	≦26.3	58 ～ 62	－	－	1800	≧0.25 ≦0.4	≦115	≦95	≦580		≦85	

１０　始動及び停止時のタイムスケジュール

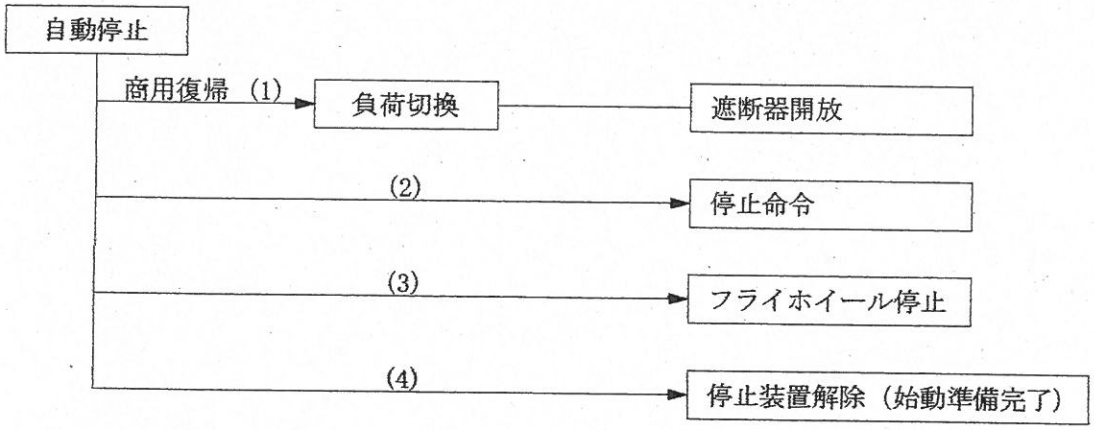
(1)　始動試験



前回点検時の測定値（参考）

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	備　考
時間（秒）	1.3	6.3	7.4	9.1	8.6	10.4	37.3	自動起動
時間（秒）	0	5.4	6.6	9.4	8.6	—	36.2	手動起動

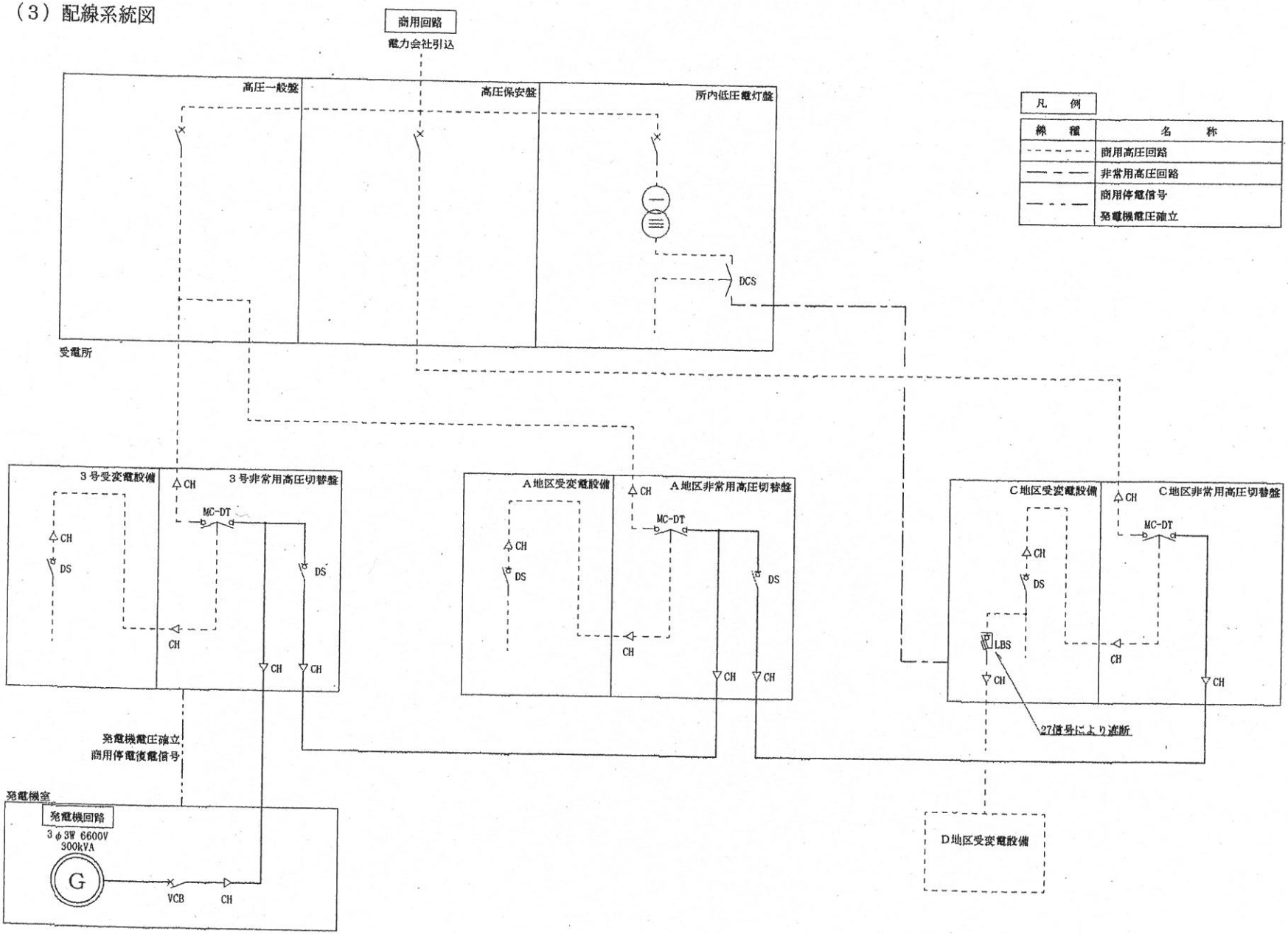
(2)　停止試験

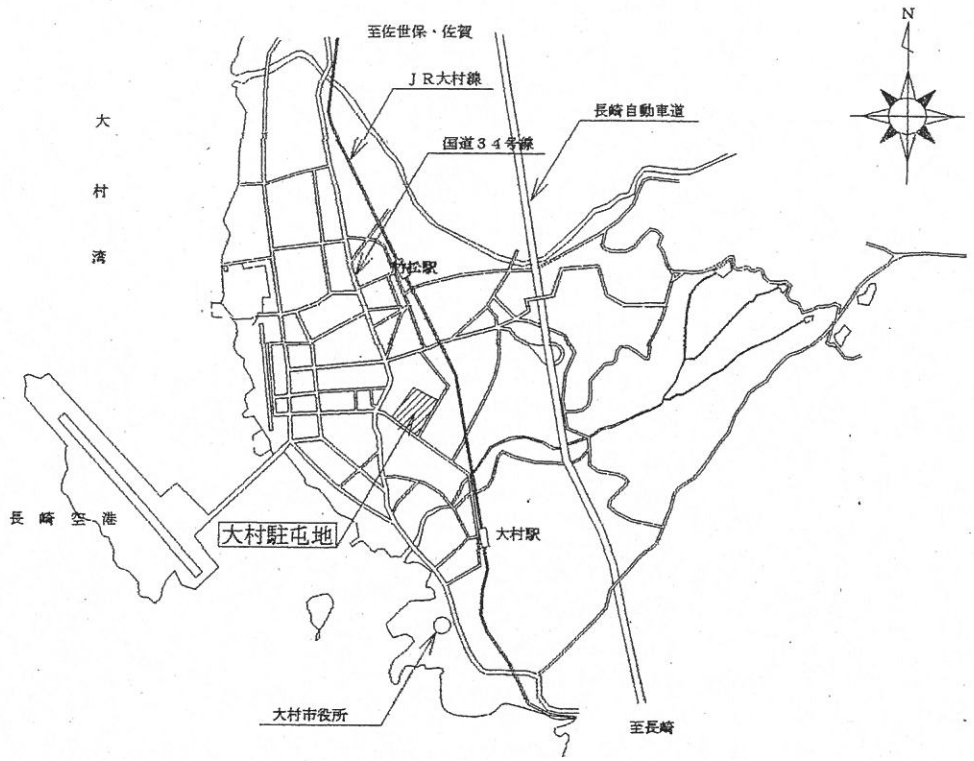


前回点検時の測定値（参考）

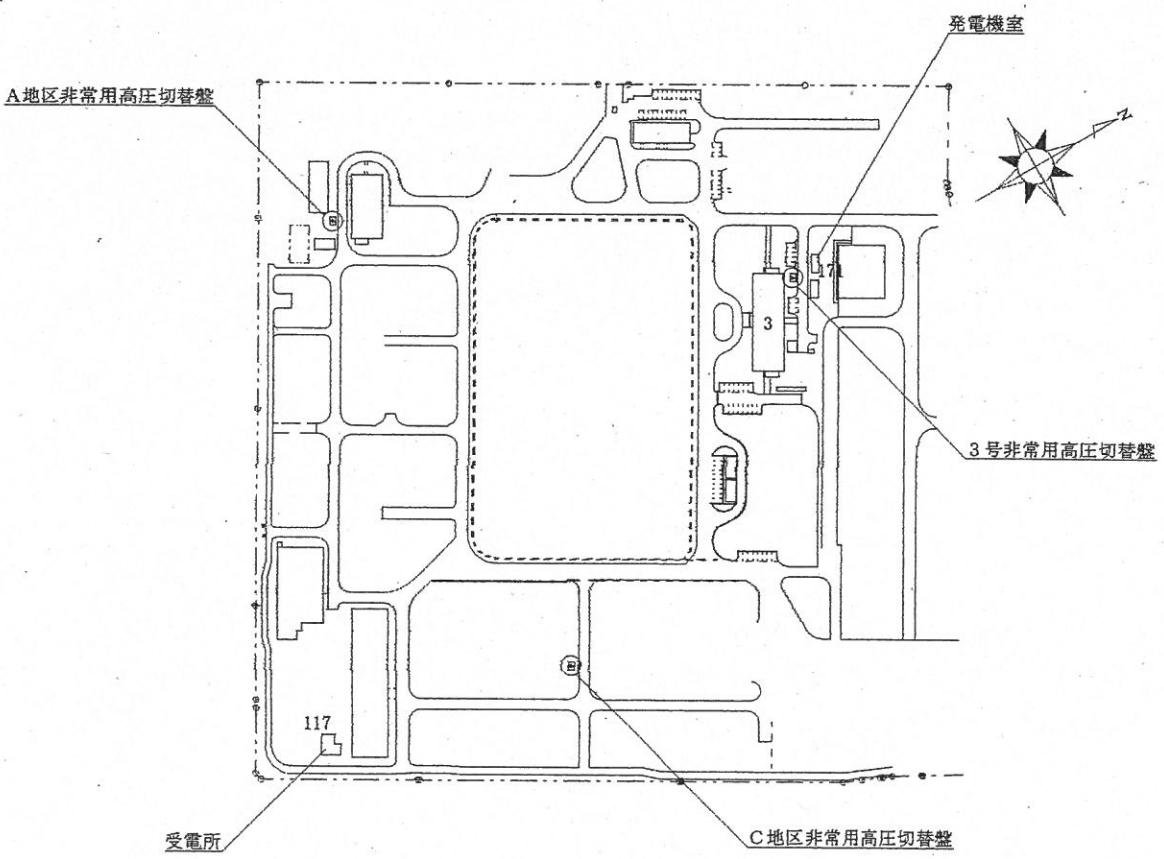
	(1)	(2)	(3)	(4)	備　考
時間（秒）	61.0	363.8	377.0	394.2	自動停止
時間（秒）	—	0	13.8	30.9	手動停止

（3）配線系統図


商用回路
電力会社引込
高圧一般盤
高圧保安盤
所内低圧電灯盤
DCS
受電所
凡　例
線　種
名　称
商用高圧回路
非常用高圧回路
商用停電信号
発電機電圧確立
3号受変電設備
3号非常用高圧切替盤
CH
MC-DT
DS
A地区受変電設備
A地区非常用高圧切替盤
C地区受変電設備
C地区非常用高圧切替盤
LBS
27信号により遮断
発電機電圧確立
商用停電復電信号
発電機室
発電機回路
3φ3W 6600V
300kVA
G
VCB
D地区受変電設備



大村駐屯地案内図　S=1:X



駐屯地配置図　S=1:4000